

クリーン水素アンモニアサプライチェーン構築への取組



mitsui & co.

2022年11月16日
三井物産株式会社

三井物産概要

商号	三井物産株式会社（英文名 MITSUI & CO., LTD.）
設立年月日	1947年（昭和22年）7月25日
資本金	342,383,728,984円
従業員数	5,494名（連結従業員数：44,336名）
事業所数 （2022年10月1日現在）	128拠点（63か国・地域） 国内11拠点／海外117拠点
本店	〒100-8631 東京都千代田区大手町一丁目2番1号 TEL: 03-3285-1111 URL: https://www.mitsui.com
連結決算対象関係会社	連結子会社：国内78社／海外201社 持分法適用会社：国内48社／海外182社 合計：509社
株式情報	上場証券取引所：東京、名古屋、札幌、福岡 発行可能株式総数：2,500,000,000株 発行済株式総数：1,642,355,644株 株主数：304,536名

（2022年3月31日現在）

社会からの評価

三井物産は国内外のESG投資指数に選定されるなど、サステナビリティへの取り組みが社会から評価されています。



2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



社会からの評価
<https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/sri/>



事業本部と地域組織（2022年4月1日現在）

金属資源本部	アジア・大洋州本部 米州本部	国内ブロック OSブロック 東アジアブロック・韓国 中東・アフリカブロック 欧州ブロック
エネルギー第一本部		
エネルギー第二本部		
エネルギーソリューション本部		
プロジェクト本部		
モビリティ第一本部		
モビリティ第二本部		
ベーシックマテリアルズ本部		
パフォーマンスマテリアルズ本部		
ニュートリション・アグリカルチャー本部		
鉄鋼製品本部		
食料本部		
流通事業本部		
ウェルネス事業本部		
ICT事業本部		
コーポレートディベロップメント本部		
コーポレートスタッフ部門		

組織
<https://www.mitsui.com/jp/ja/company/outline/organization/>

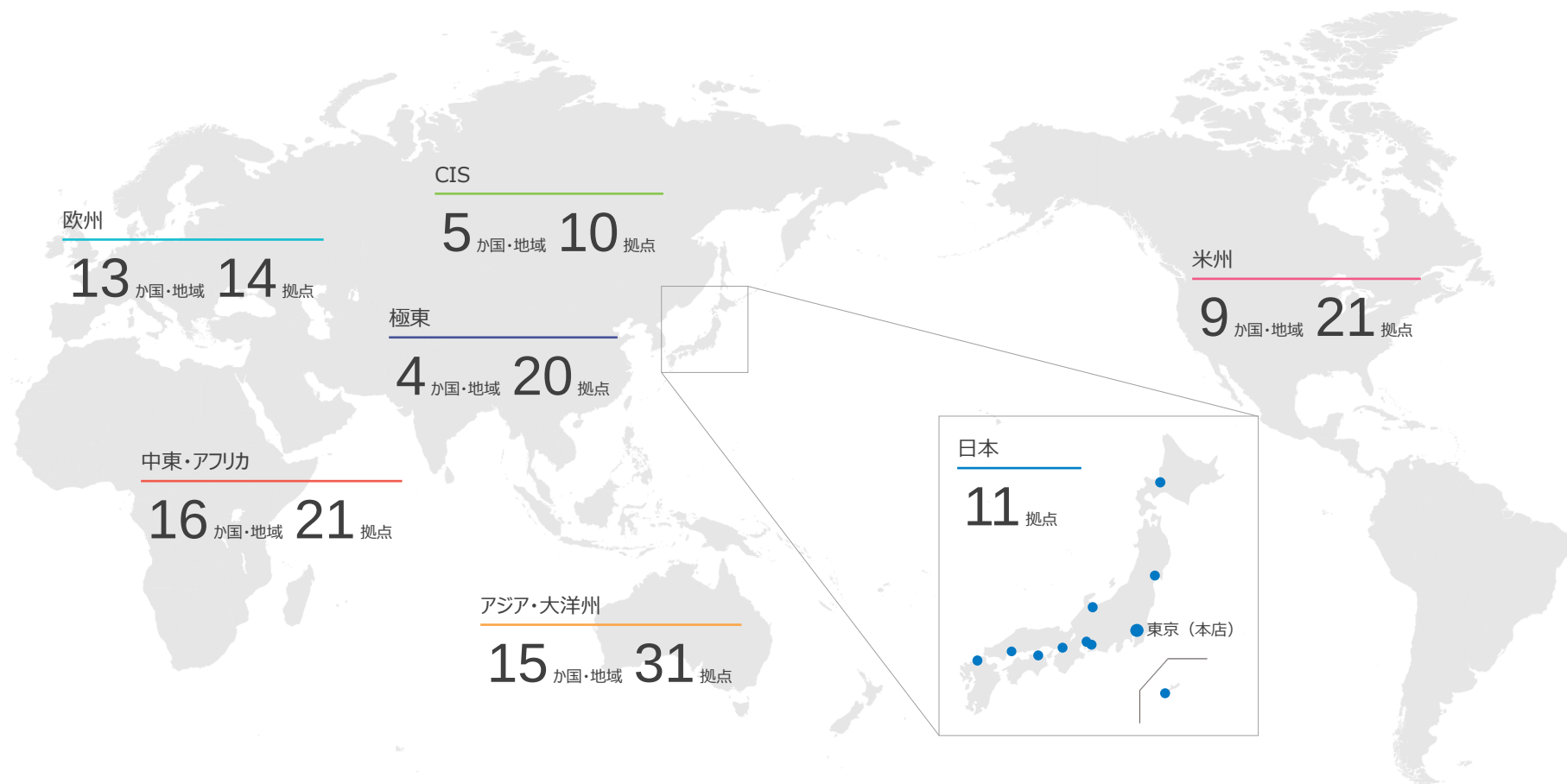


グローバルネットワーク

さまざまなビジネスを通じて築き上げてきたネットワークを駆使し、
世界中のお客さまと共に、未来をつくれます。

事業所数

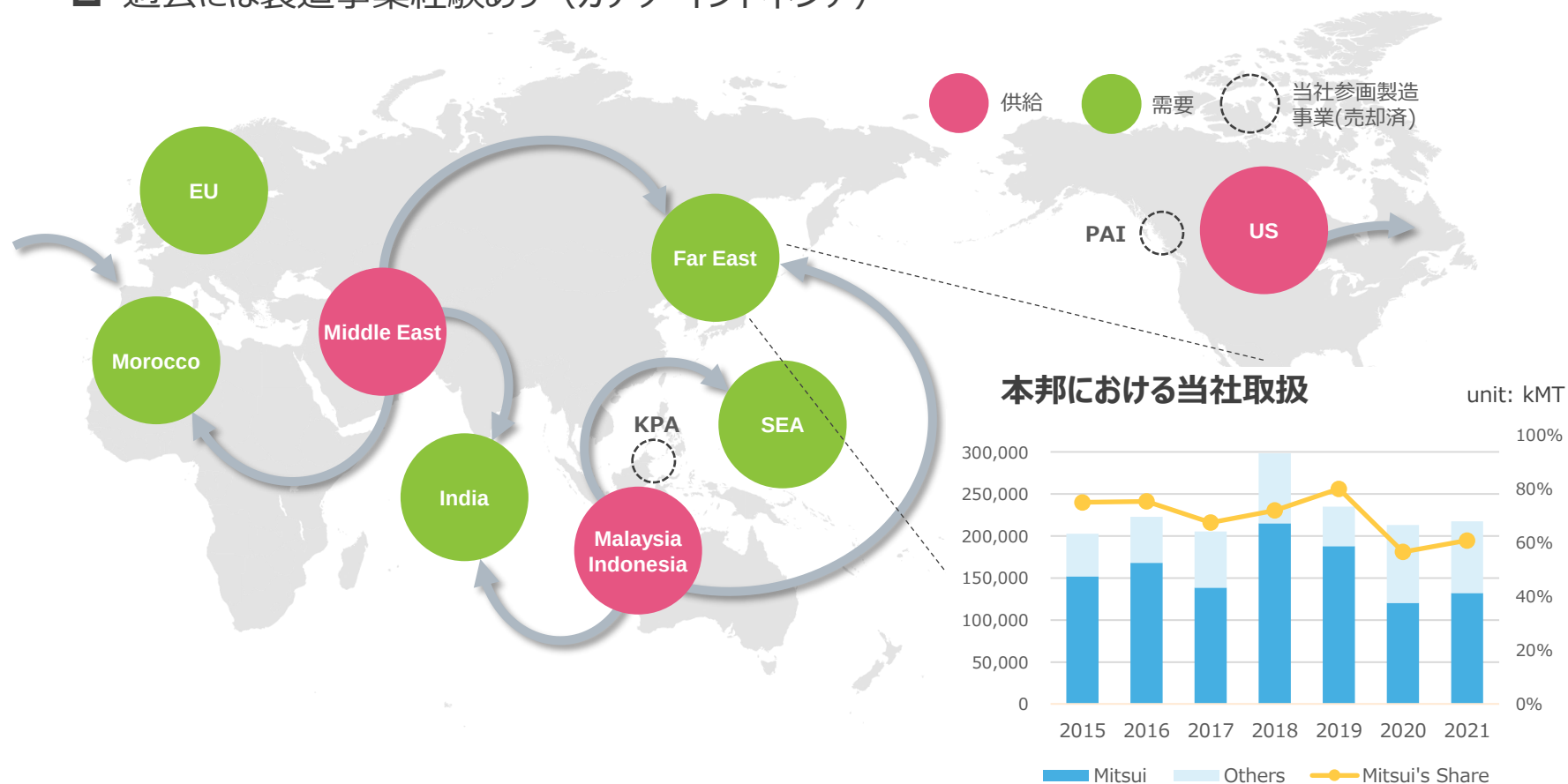
63 か国・地域 128 拠点



（2022年10月1日現在）

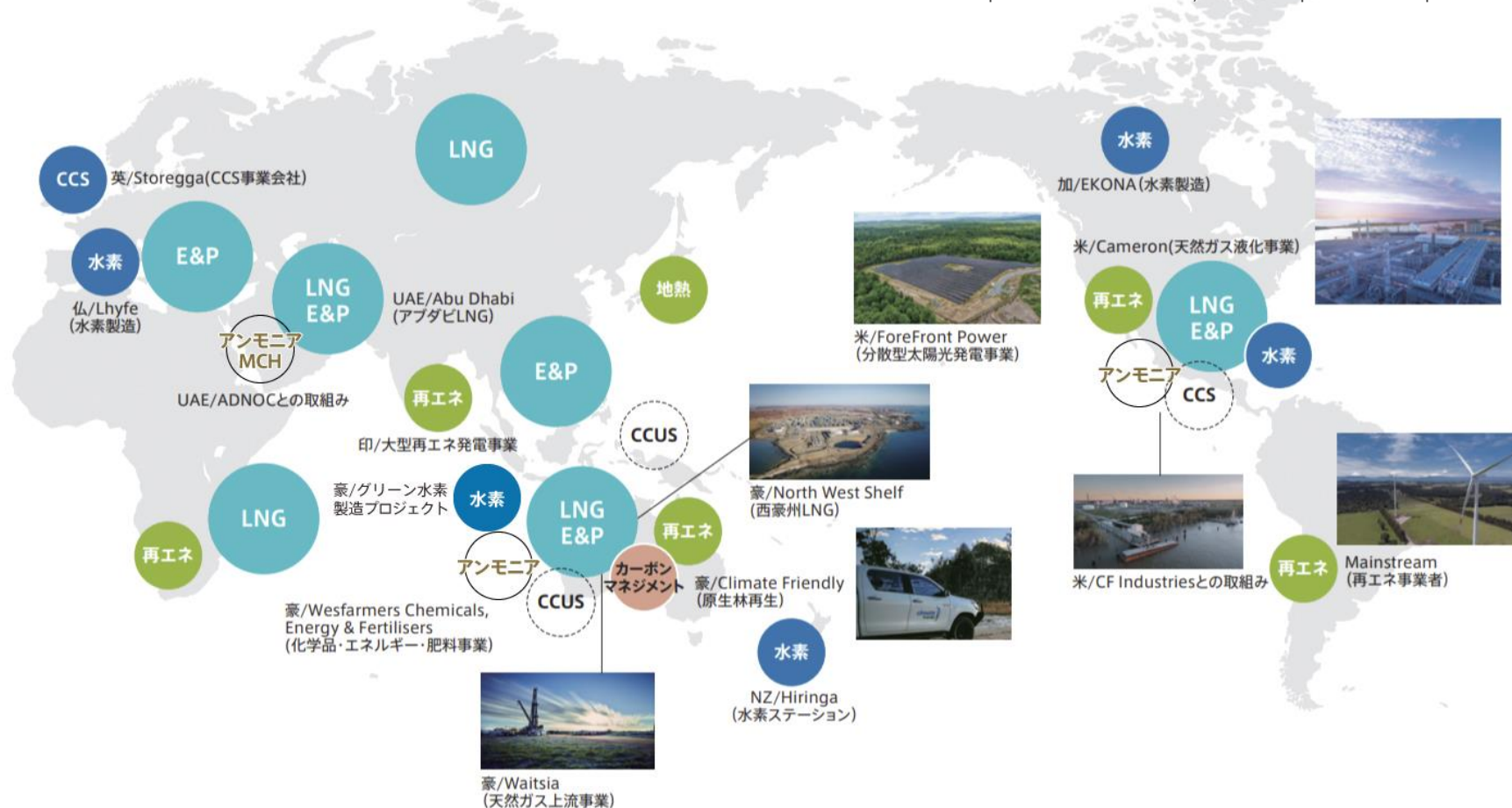


- 約50年にわたるアンモニアトレーディング実績
- 専用船やタンクなどロジスティクスの知見、本邦輸入マーケットトップシェア
- 過去には製造事業経験あり（カナダ・インドネシア）



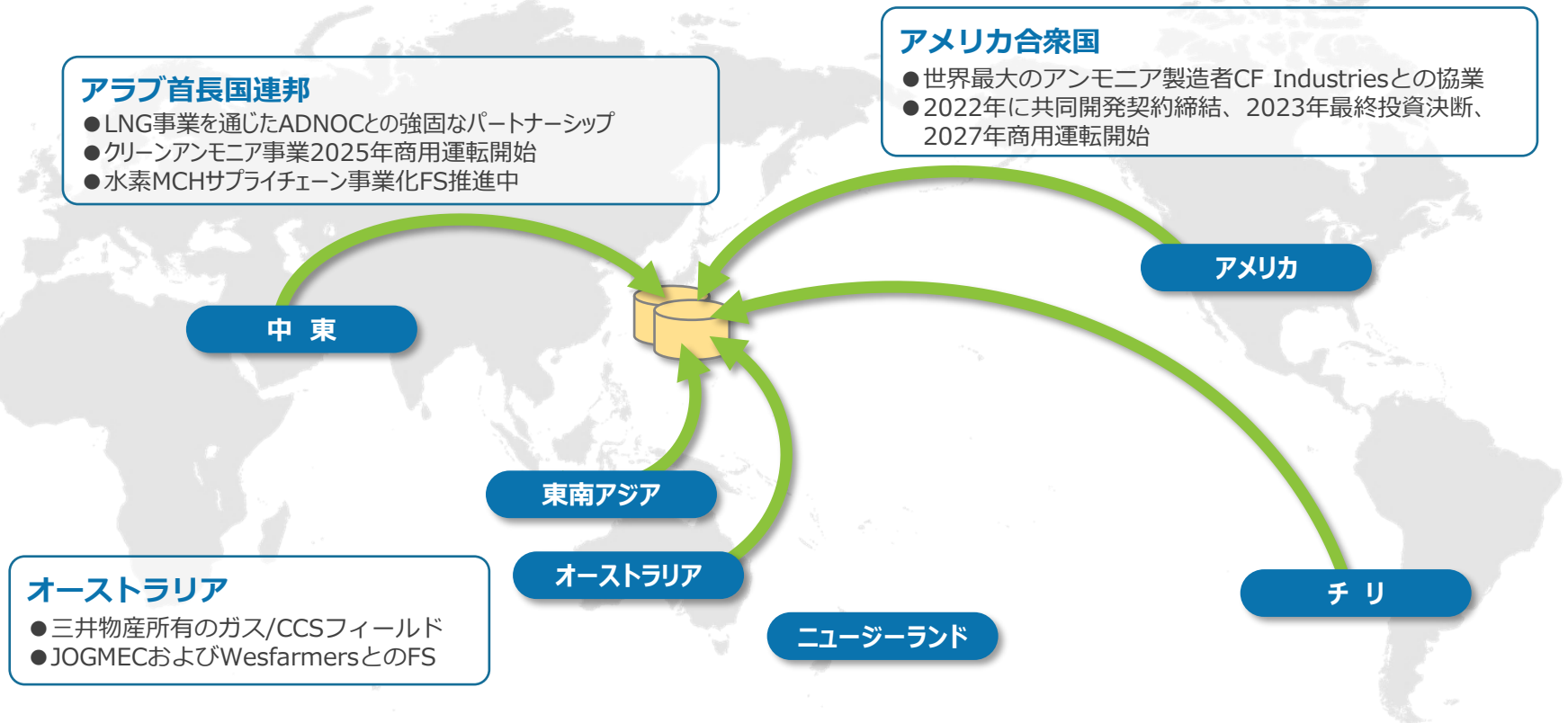
- 顧客、産油・産ガス国、オイルメジャー等との強いパートナーシップ
- E&P^(*)、LNG事業を中心としたグローバルな上流事業展開、及びCCS^(*)の知見
- 持続可能なサプライチェーンへの貢献のコミット

*Exploration & Production, Carbon Capture and Sequestration

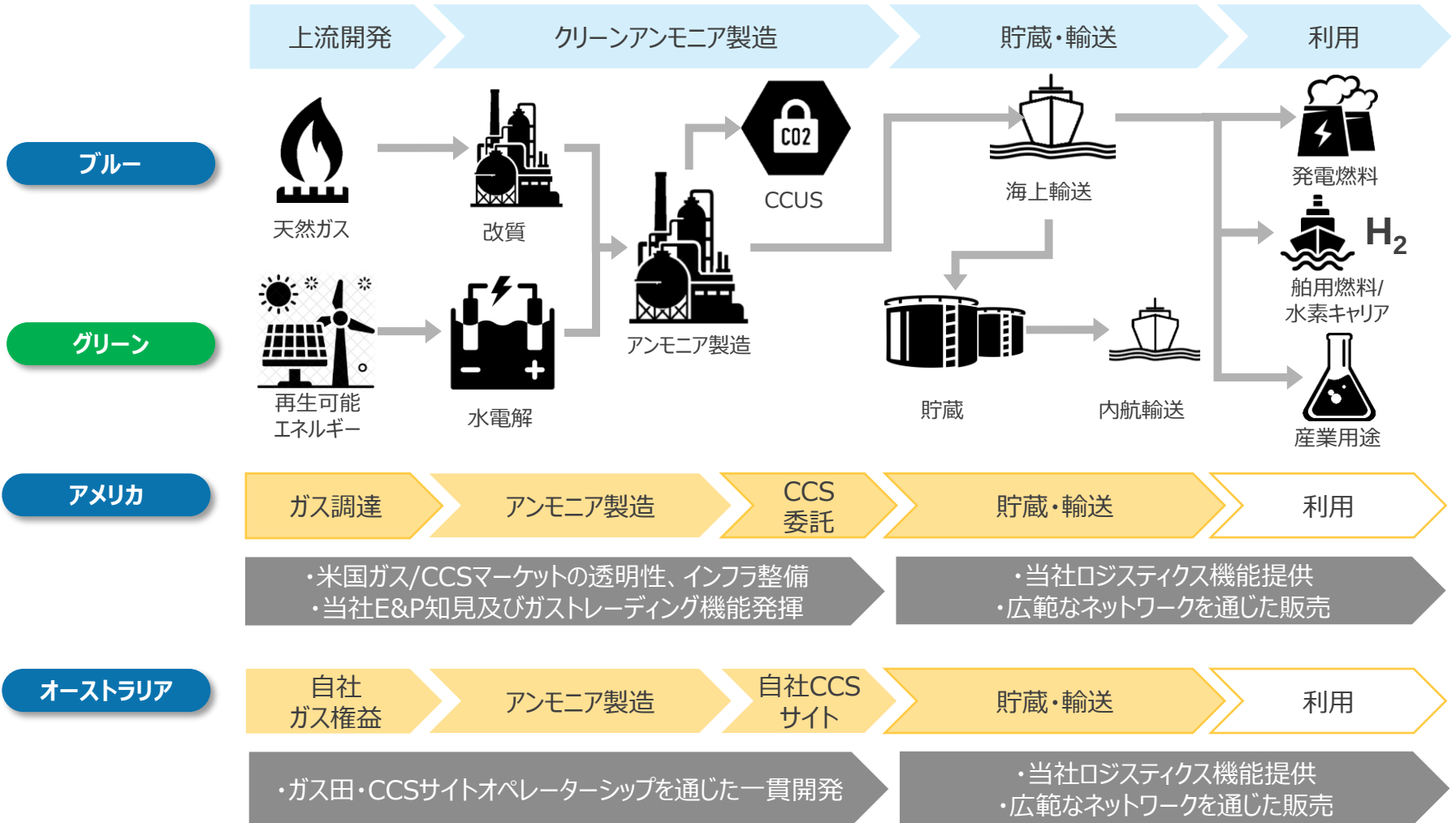


当社クリーン水素・アンモニア取組

- 当社アンモニア事業及びエネルギー事業双方の知見を活かした事業開発
- **コスト優位且つ大規模生産が可能なブルーアンモニアを先行して取組**
- **安定的で競争力ある製造案件への早期参画により本邦向け安定供給に貢献**
- MCHをキャリアとした大規模水素サプライチェーン事業開発にも取組中



クリーンアンモニアサプライチェーン



当社はクリーンアンモニアサプライチェーンに一貫して関与し、競争力ある案件開発を推進

米CF Industriesとのブルーアンモニア共同開発事業

案件概要

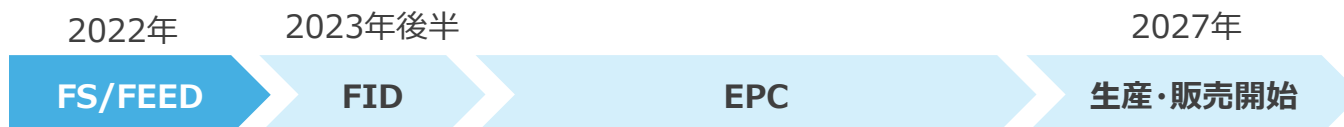
- ❑ CF Industries(“CF”) 52%・当社 48%の出資構成
- ❑ 米国ルイジアナ州に建設サイト確保済み
- ❑ 年産100万トン超の新設プラント
- ❑ 2022年11月FEED契約を締結、開発本格化に向けて推進



特色

- ❑ アンモニア製造最大手CFとのパートナーシップ
- ❑ 同規模のアンモニアプラント操業実績、及び同社知見をフル活用した早期立ち上げ
- ❑ 本邦含めたアジア向けマーケティングを当社が主導
- ❑ Henry Hubをはじめとした流動性高い天然ガスマーケットへのアクセス
- ❑ 圧倒的なCCUSポテンシャル及び45Q等サポータティブな制度設計
(CFは既存プラントのブルー化につき、ExxonMobilとCO2オフテイク契約締結済)

開発スケジュール



CFとのパートナーシップ及び米国の天然ガス・CCS・制度設計をフル活用した早期立ち上げを目指す

案件概要

- 西豪州自社ガス田・CCSサイトを活用したブルーアンモニア構想
- 年産100万トン超の新設プラント
- JOGMEC殿の支援を得てCCS事業化調査中
- 今後Wesfarmersはじめ他パートナーを招聘し開発推進予定。



特色

- 資源・エネルギーで緊密な関係にあるオーストラリアでの貴重なブルーアンモニア案件
- ガス田・CCSサイトのオペレーターシップ保有を通じた自社一貫開発
- サプライチェーンの最上流である天然ガスへのコストアクセス
- 豪州最大の複合企業でアンモニアプラントを有するWesfarmersとのアライアンス

開発スケジュール

～2024年

FS/FEED

2025年以降

FID

EPC

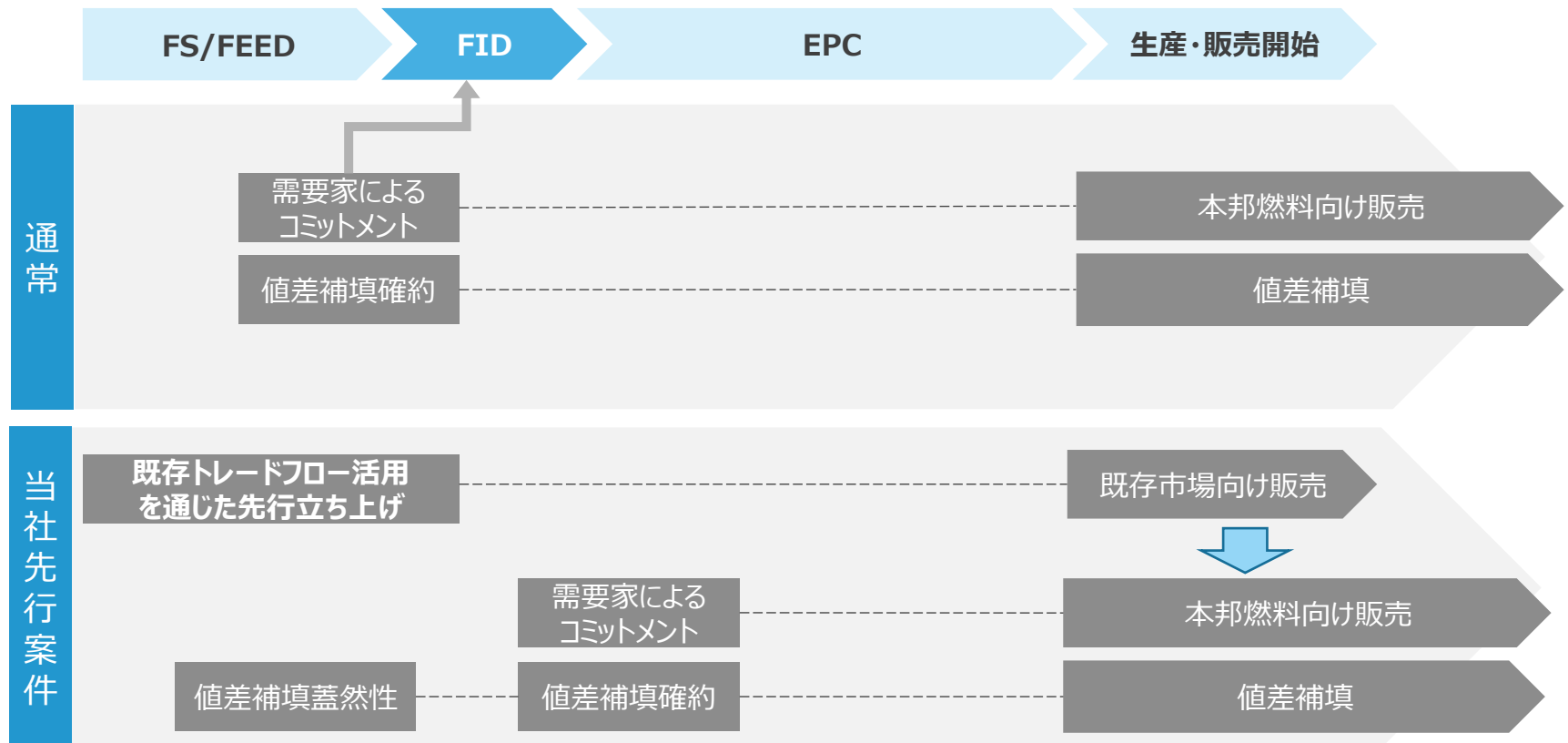
最速2028年

生産・販売開始

オーストラリアに於いて上流開発、アンモニア製造、CCSまでを本邦企業が一貫して担う貴重な案件

クリーンアンモニアプロジェクトタイムライン

- ▶ 通常プロジェクトFIDに際しては需要家によるオフテイクコミットメント取付が必要。
- ▶ 当社は、既存販売力・トレードフローを活用し、一部の案件はFirst Moverとしてプロジェクトの先行立上げを企図。一方で、投資判断に際しては、本邦向け数量を対象とした値差補填を得られる高い蓋然性が確保される必要がある。



ファースト ムーバー支援

- ▶ クリーン水素・アンモニアサプライチェーン構築に於いては**当面ブルーが競争優位性を維持**。
- ▶ 競争力の高いアンモニアの安定的な供給体制確立に向け、当社は既存アンモニアプレイヤーとしての販売力・トレードフローや、アンモニアプレイヤーとのパートナーシップ・既存技術の活用を通じた早期案件開発を推進中。斯様な**先行案件に対する手厚いご支援をお願いしたい**。

値差補填 について

- ▶ **値差補填**はサプライヤー支援を通じた需要家へのサポートであり、極めて重要。大規模な投資判断を行う必要があることから、双方にとって**予見可能性が高く、事業立ち上げリスク・調達コスト負担軽減に資する内容**として頂きたい。ファイナンスコスト低減の為にも予見可能性は重要。
- ▶ 支援制度の設計に当たっては事業者のコントロールの及ばないガス市況変動リスク(例：米Henry Hub)に就いてもご配慮頂きたい。

上流・グリーンへの 支援

- ▶ **サプライチェーンの最上流に位置するガス田やブルー化に必須なCCUSサイトへの本邦企業アクセスも肝要**。引き続きJOGMEC等を通じた**ご支援をお願いしたい**。
- ▶ 将来的に競争力が高まることが期待される**グリーン案件に就いては**、FSや実証・地産地消といったフェーズから支援頂き、**本邦企業が初期段階で有望案件に刺さり込む仕組み**が必要。

日本にとって強靱なサプライチェーン構築に向け、官民一体となって取り組ませて頂きたい。

360° business innovation.



MITSUI & CO.